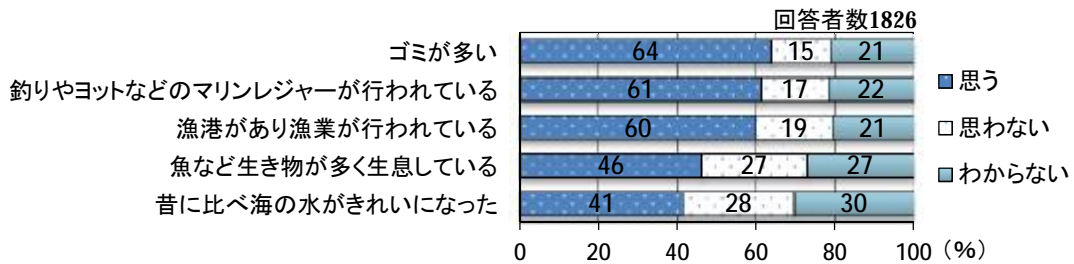


## 「大阪府豊かな海づくりプラン等の改定」に関するアンケート

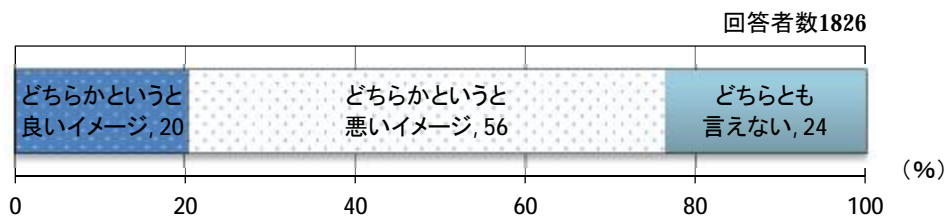
- 目的：新・大阪府豊かな海づくりプラン及び第7次大阪府栽培漁業基本計画の策定に係る基礎資料とするため
- 実施期間：平成26年9月2日(火)から9月8日(月)まで
- 対象：おおさかQネットアンケートモニター(大阪府内に在住の15歳以上かつインターネット、電子メールを使用することができる方から選定)
- 回答者総数：1,827件

Q1 あなたは、大阪の海に対してどのようなイメージを持っていますか。(1つ選択)



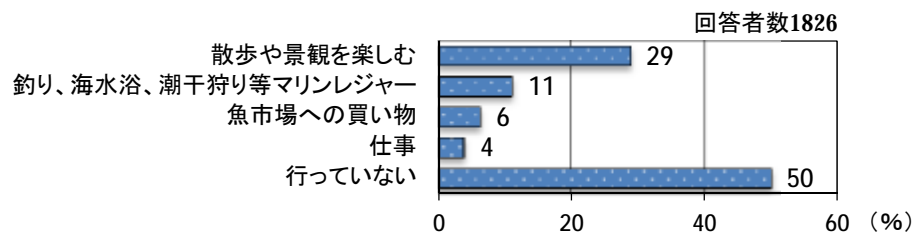
大阪の海に対する個別のイメージ(H26大阪Qネット結果)

Q2 Q1の各項目に対するお考えを踏まえた上で、あなたのおおさかの海(水質やそこにすむ魚等)に対する全体的なイメージはどうか。



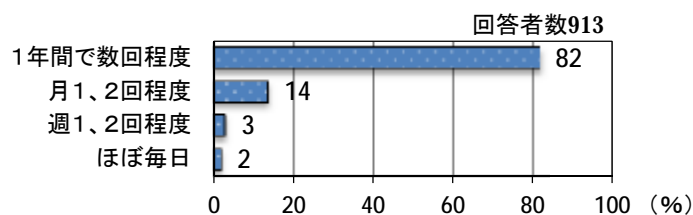
大阪の海に対する全体的なイメージ(H26大阪Qネット結果)

Q3 あなたは、この1年間で大阪湾やその沿岸地域に行かれたことがありますか。ある方は、その目的として次の中からあてはまるもののうち頻度の一番多かったものを一つだけ選んでください。



この1年間で行った大阪湾やその沿岸地域(H26大阪Qネット結果)

Q4 Q3で「行っていない」と回答された方以外の方に伺います。どのくらいの頻度で行かれましたか。

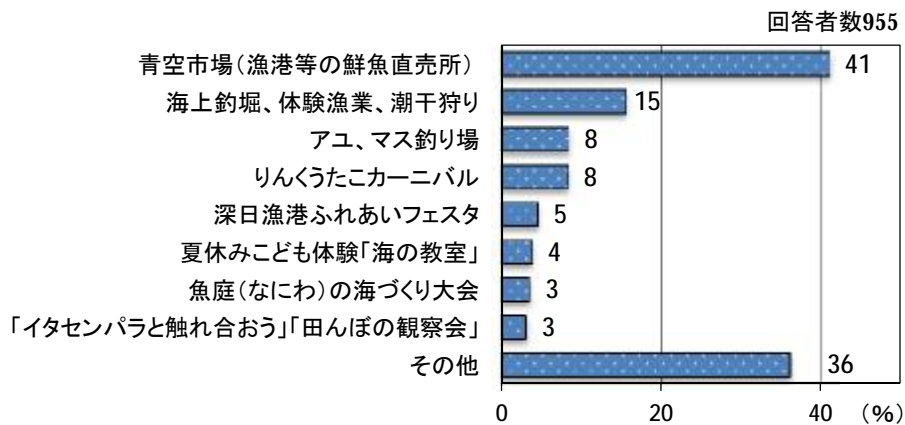


大阪湾やその沿岸地域に行った頻度(H26大阪Qネット結果)

Q5 Q3で「行っていない」と回答された方に伺います。どのような場所、空間、イベントなどがあれば、行ってみようと思われますか。(自由回答)

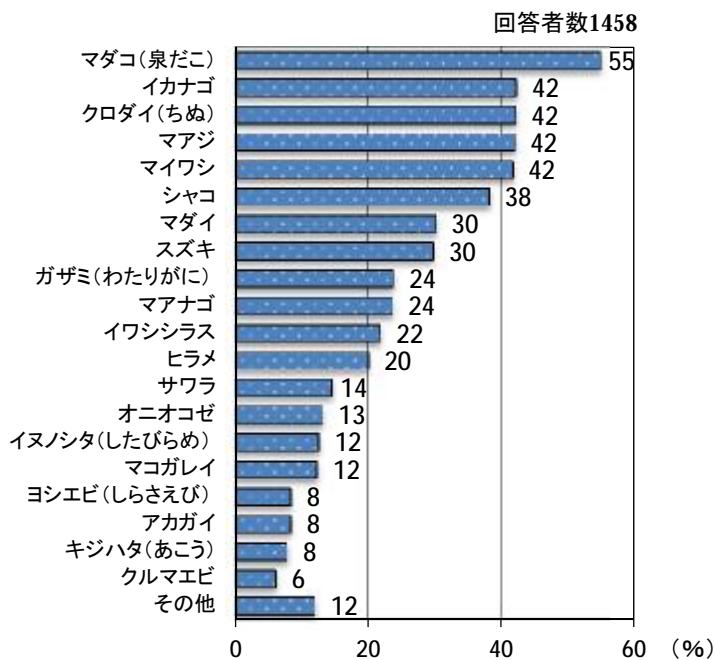
きれいな海、砂浜、きれいな施設、クルージング、ドッグラン、バリアフリー、フリーマーケット、安全、治安のよさ、海水浴場、魚を食べて買えるところ、景色、公園、交通の便のよさ、混雑しない、駐車場の整備 等

Q6 大阪府や漁業協同組合などでは、府民の皆さんに海や川と親しんでもらおうと、年間を通じて次のようなイベントを実施しています。このうち、あなたが参加したことのあるものを全て選んでください。



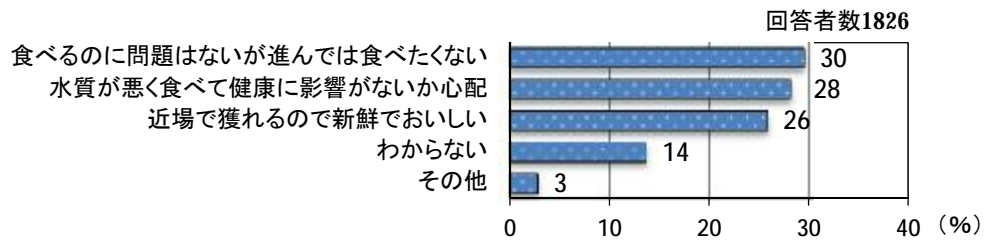
参加したことのああるイベント(H26大阪Qネット結果)

Q7 次の魚種のうち、あなたが大阪湾で漁獲されていることを知っているものを全て選んでください。



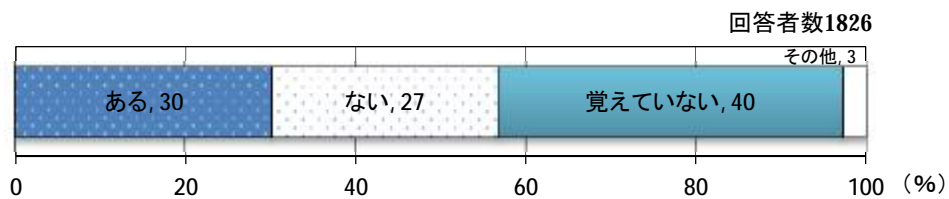
大阪湾で漁獲されていることを知っている魚種(H26大阪Qネット結果)

Q8 あなたは、大阪湾で獲れる魚介類に対してどのようなイメージを持っていますか。(1つ選択)



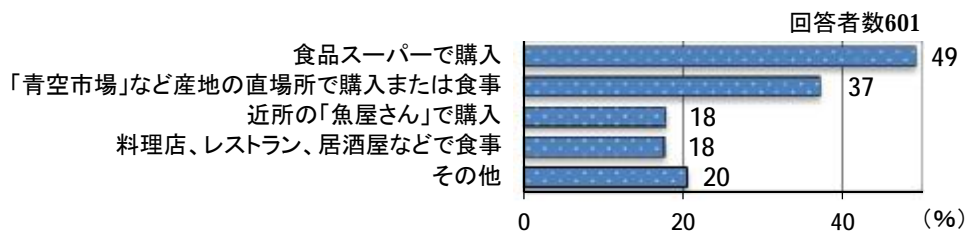
大阪湾で獲れる魚介類に対するイメージ(H26大阪Qネット結果)

Q9 あなたは、この一年間に大阪湾で獲れた魚介類を購入、または食べたことがありますか。



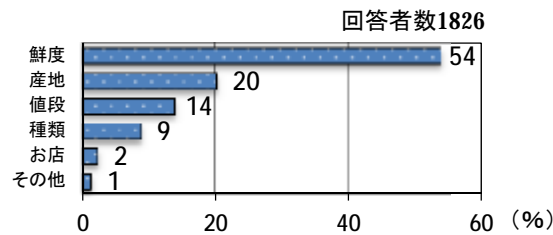
この一年間に大阪湾で獲れた魚を購入または食べたことがあるか (H26大阪Qネット結果)

Q10 Q9で「ある」と答えた方に伺います。どこで購入、または食べましたか。(全て選択)



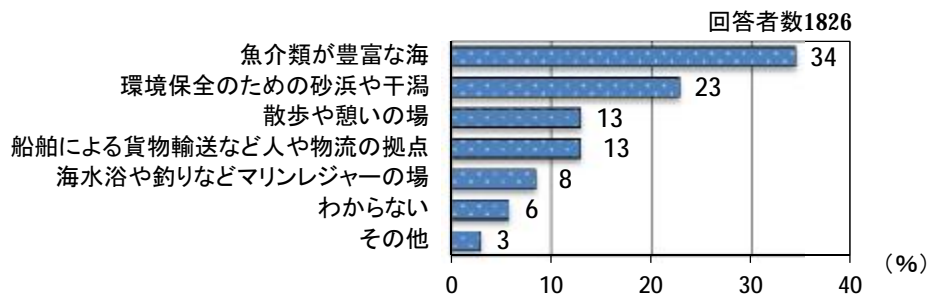
大阪湾で獲れた魚を購入または食べたところ(H26大阪Qネット結果)

Q11 あなたが普段魚介類を購入、または食べる場合に、一番重要視することは何ですか。(1つ選択)



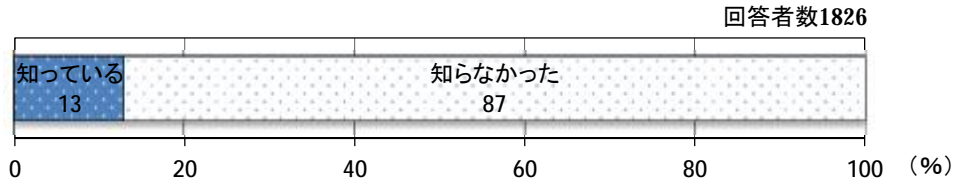
魚介類を購入または食べる場合に重要視すること(H26大阪Qネット結果)

Q12 あなたは、今後大阪湾をどのようにしていくべきだと考えますか。(1つ選択)



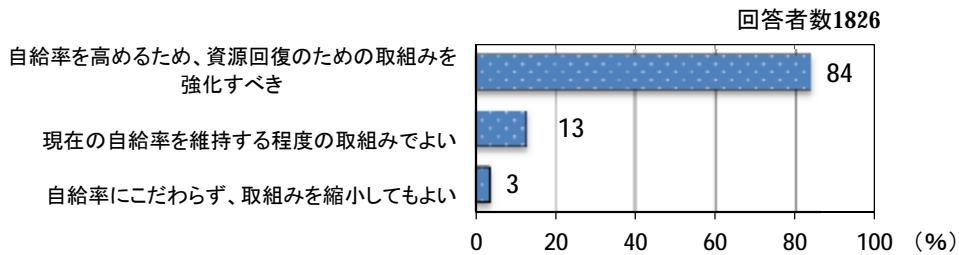
今後大阪湾をどのようにしていくべきか(H26大阪Qネット結果)

Q13 あなたは、大阪府の「栽培漁業」の取組みを知っていましたか。



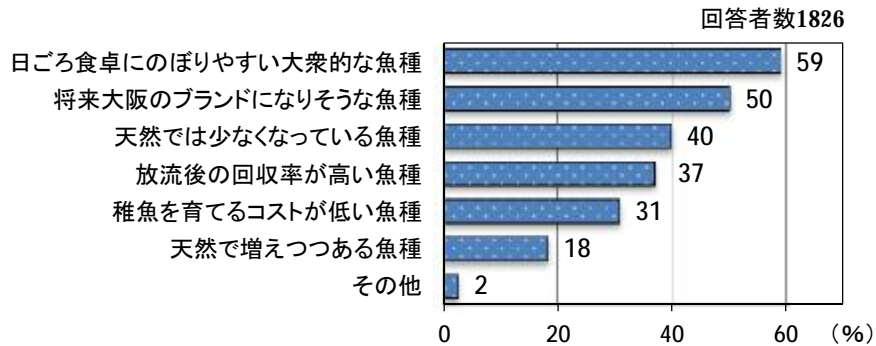
大阪府の「栽培漁業」の取組みを知っていたか(H26大阪Qネット結果)

Q14 日本の食料自給率は39%(カロリーベース)で、食用魚介類の自給率は58%(重量ベース)(平成24年度)と約4割を輸入に頼っています。日本周辺海域の水産資源の回復のための取組み(稚魚の放流、漁場環境の整備など)について、今後どうしていきべきだと思いますか。



資源回復のための取組みをどうしていきべきか(H26大阪Qネット結果)

Q15 今後、大阪府が稚魚の生産・放流に取り組むにあたって、その魚種をどのような基準で選ぶべきだと思いますか。(3つ選択)



日ごろ食卓にのぼりやすい大衆的な魚種	(例) マコガレイ、サワラ、アカガイ
将来大阪のブランドになりそうな魚種	(例) キジハタ、トラフグ、ヒラメ
天然では少なくなっている魚種	(例) マコガレイ、トラフグ、クルマエビ
放流後の回収率が高い魚種	(例) キジハタ、ヒラメ、オニオコゼ
稚魚を育てるコストが低い魚種	(例) マコガレイ、クロダイ、ヨシエビ
天然で増えつつある魚種	(例) クロダイ、サワラ、ガザミ

稚魚の生産・放流に取り組むにあたっての基準(H26大阪Qネット結果)